## 備前市事務事業評価表

	□ □ F 02-01-03-26					事務事業の	評価				(平成18年度事業)	
事務事業名	重度身体障害者住宅改造助成事業 担当課・係 福祉事務所障害者福祉係			福祉事務所障害者福祉係	_			☑ 関係法令等で目的が定められており妥当である			妥当性評価 < A ~ E >	В
	世 世 世 世 世 世 世 世 一 田 中 淳 一				, I	目 目的の妥当性		□ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている □ 事業開始当初の目的から変化しつつある			課題認	識
事業実施期間												
総合計画		さしさあふれるまちづくり	)			· 対		□ 現在の市を取り巻く環境から	ら目的は妥当である	_		
事業(政策)体系	中項目(基本施策)     やさしさる       小項目(施策)     障害者(リ	あ <u>ふれるまちづくり</u> B > 短が			-	象		<ul><li>□関係法令等:</li><li>□ 受益者の拡大を検討する余地が</li></ul>	<b>ポ</b>		-	
	<u> </u>	七 / 抽1址				対象の妥	当性	<ul><li>□ 支監督の拡入を検討する余地/</li><li>□ 受益者の縮小を検討する余地/</li></ul>				
事業について	]					内	- 1-	☑ 現在の対象者は妥当である	, 0, 0			
						の の		□ 市民、団体などから要望・要詞	青のある事業である		─法令に基づき実施されて ─妥当である。	おり、内容は
目 的				事業の目的、対象、 内容を考えながら目		ズの妥当性	□ 市民に概ね好評な事業である			X 1 (0) 0.		
(何のために)	主及为严障自己(元)切旧记记	70日帝王和廷日初に6、	71181091	= C+1112 0 0	的妥当性の評価を	当		□ 公共秩序の維持、行政の適正				
					行って下さい。	1年		☑ 国・県又は関係法令で定められ □ 民間に類似サービスがある	1ている事業である			
<b>→</b> 45	1・2級の手帳を所持している在宅の肢体不自由障害者					市の関与の妥当	妥当性	□ 民間に類似サービスがある □ 本市が関与すべき事業である				
対 象 (誰・何を対象に)								□ 事業を取り止めた場合の影響	#大である			
( = , , = , , , , , , , , , , , , , , ,								□ 単位当たりコストは増加傾向にある			効率性評価 < A ~ E >	С
	住宅を障害者の居住に適するよう改善する場合に、予算の範囲内でその費用の一部を助成する。					コストの効率化効	th 557 / V	□ コスト削減の努力をしている			課題認	識
内 容							切平16	□ できる限り民間沽刀を利用している				
rs <del>tr</del>								□ 受益者負担額は適正である				
						性	<del></del> /	☑ 最適な手段を求めて職場内で		5		
事業の結果						手段の最	適化	□ 他に有効な代替手段が見当たらない □ 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている			県の基準により補助額を補助してい	
	17年度	18年度			1 /	評		<ul><li>□ 事業は他の者と密接な建船前</li><li>□ 事業に関して事務改善等作業</li></ul>			る。	
実施項目	回数など (単位) 回数など (単位) 回数など (単位)						/I.	□ 事業に関するOJT(職場研修				
主宅改造助成件数	6件 2件					職場の効率化	]举化	□ 事業の進行管理を定期的に行				
								□ 事業実施について職員の意見	・要望が反映されやすい			
					事業費や単位当たり	目的達	<b>北度</b>	□ 成果指標の目標値は目標年度Ⅰ			有効性評価 < A ~ E >	D
					コストに留意しなが	有	-7.1.2	□ 成果指標は前年度より向上して			課題認	識
	事業費 財源 事業費 財源 事業費 財源				ら効率性の評価を 行って下さい。	効成果向上の可能性	可能性	□ 成果は向上しており今後も向上する見込みである □ 今後、成果指標は向上する余地がある				
事 業 費	学来員         的//s         学来員         的//s         学来員         的//s         学来員         的//s         学来員         的//s         学来員         的//s         可//s          的//s			13201000	では、		□ 予後、成業拍標は向上する赤地がある □ 事業について積極的に情報提供している			一障害者の日常生活用具(地域生活支援 事業)の中の居宅生活動作補助用具に 統合され、平成18年度に廃止する。		
<b>*</b> * * *							□ 事業実施等で積極的に市民意見を反映している					
(単位:千円)	市債	市債	/	市債	1 /	市民参	<b>의</b> 浸	□ 事業にはNPO、ボランティア	団体等が参画している			に採止する。
	合計 2,892 - 般財源等 2,149	合計 1,362 一般財源等	1,204 合	計 0 一般財源等 0	/			□ 事業のプラン作りから市民参加	Dを得る手段をとっている	5		
必要人員	0.23 人	0.10	人 th	λ	/	亚世10年	する性の					
結果指標名 結果指標量	住宅改造助成件数	住宅改造助成件数	X		/	平成19年月		□ 休止している				
単位	件	件			الم ك			☑ 他の事業と統合している				
対前年比	<u> </u>	33.33%			□ 見直し継続し		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
活動にかかるコスト	2,892,000 B	1,362,000	円	P	1 / //	□ 事業を縮小し	ている	□ 平成18年度で廃止・元 5				
単位当たりコスト	482,000 <sub>P</sub>	681,000	円	P	事業の目的やその数 値目標である成果指	結果指 目標値			結果指標量			
結果指標名					値目標だある成果指標に留意しながら有	成果	指標量					
結 結果指標量 単位					効性の評価を行って	総合評価						
指 対前年比	_				· 下さ∮1。 //	※ 口 口 川 叫						評価区分
活動にかかるコスト	P		円	P	1 / /							< A ~ E >
単位当たりコスト	В		円	円	] / //							
	-				/ /							
事業の成果					, / /	亚芹鱼鱼	中川内へ	~ <del>_</del>				
ぱの トミわば田太祖 ト					/	平成20年			] 事業の縮小を検討す	- z		
どのような成果を得よ うとしているか	重度身体障害者(児)の居宅における日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減する。				/	□ さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) □ 事業の縮小を検討する □ 現状のまま継続する □ 休止・廃止を検討する				□ 平成19年度で属	EI上・完了	
						□ 見直しのうえで継続する □ 他の事業と統合を検討する					□ 平成19年度で廃止・完了	
					1							
成果指標名	住宅改造助成件数	式又は説明		l '	平成20年度	以降の₹						
CACIFIED IN H		-VX (.0.1/0-13				評価の視点		改善内容	改善時期		改善により期待される効	果
	17年度	18年度								1		
成果指標量	6 6	2			1		<b> </b>					
対前年比	-	33.33%		0.00%	]					ĺ		
到達目標値		到達目標年度										